

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成20年7月

(平成20年6月末調査)

平成20年7月18日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【5月】	諏訪公共職業安定所管内 ※1	1.10 倍	△0.13 ポイント
手形交換高【6月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	12,385 枚	+3,021 枚
	金 額	16,663 百万円	+5,964 百万円
	うち	枚 数	5 枚
	不渡り発生状況	金 額	3,197 千円
自動車販売【6月】 (諏訪地方合計)	車庫証明取扱件数 (普通車)	1,034 件	△9.6 %
	軽自動車販売台数	393 台	+4.8 %
新設住宅着工件数【20年4月～5月】(諏訪管内)		291 戸	△16.3 %

※1：平成20年4月分より諏訪公共職業安定所岡谷出張所（旧岡谷公共職業安定所）を含めた数値となりました。

地域の概況

●製造業

自動車部品の下請企業の受注状況は加工部品により区々であるが、総体では弱含みの状況が続いており、引き続きコストダウン要請がきかれる。また、今後の親会社の生産調整を危惧するものの、ハイブリット車やディーゼル関係・中小型車向けの需要に期待の声がある。デジタルカメラ関連企業の生産状況は総体では堅調であるものの、メーカーにより発注状況は区々となっている。工作機械や専用機は国内向け需要の弱含みや大型設備の受注減少から、生産状況に減速感がみられる。

6月調査の長野県内の企業短期経済観測調査（短観・日銀松本支店発表）では、製造業の業況判断DIは△9と前回調査（3月）の△2から7ポイントのマイナスで4期連続の低下となった。なかでも、高水準を保っていた輸送用機械は+73から+9へと64ポイント急減している。

原材料価格等が高止まりするなかで受注単価への転嫁が進んでいないことから下請企業の収益性は悪化しており、生産・受注状況も含め地域製造業の業況は引き続き減速感がみられる。

●商業

諏訪地方は6月2日頃に梅雨入りし、中旬に真夏日となる日があったものの、月間を通して曇りや雨の日が多く降水量は平年より多くなった。

気温の上がった中旬には夏物衣料が幾分動いたものの、ガソリン高や食料品価格の上昇の影響を受け月間を通しての動きは弱かった。ガソリン価格が6月には170円台、7月に入ると1987年の統計開始以来の最高値である180円台となり、食料品価格の上昇とともに商業活動に大きな影響を与えている。

また、長野県内では6月1日より「たばこ」の自動販売機に成年識別ICカード「taspo（タスポ）」が導入されたが同カードの普及率は低く、たばこの購入をコンビニで行う喫煙者が増えたことから、諏訪地区内のコンビニでも売上が増加したとする店舗が多い。

●観光業

例年6月は、梅雨や5月の大型連休の反動から入り込み客は低調となっている。

NHK大河ドラマ「風林火山」の効果があった昨年に比べ、宿泊客数は各観光地とも減少傾向となっており、上諏訪温泉では7月下旬より始まるサマーナイトファイヤーフェスティバル（連日の花火打ち上げ）までの対応が課題となっている。

また、8月15日の花火大会の予約状況では法人需要が例年より幾分弱含んでいるとの声がかかるものの、夏の旅行者動向が燃油サーチャージ（付加運賃・料金）の加算により高値となる「海外旅行」から「国内旅行」にシフトする傾向にあることから、各施設とも夏休み向けの営業に注力している。

●建設業

市町村の6月の発注工事は、建築工事17件569百万円、土木工事・下水道工事57件275百万円、その他工事12件140百万円の合計86件984百万円で、前年同月比では△22件、△593百万円の減少となった。

県関係の6月の公共工事（地元業者受注分）は8件289百万円で、平成20年4月～平成20年6月の累計契約は16件470百万円と平成18年7月豪雨災害の復旧工事のあった前年同期累計比では△11件、△1,186百万円と大きく減少している。

民間工事は、諏訪地方の5月の新設住宅着工件数は82戸で前年同月比では△92戸（△52.8%）の減少となった。

●雇用

諏訪地域の5月の有効求人倍率は、1.10倍と全国（0.92倍）及び長野県（1.08倍）を上回っている。また、諏訪地域の5月の新規求人（全数）は1,231人で前月比△479人の減少、前年同月比△76人（△5.8%）の減少となっている。また、新規求職者数は854人で前年同月比25人（+3.0%）の増加となっている。

諏訪地域の有効求人倍率は、平成15年10月以降56ヶ月連続して1倍を上回っているものの、昨年10月より8ヶ月連続して前年同月比を下回っている。

※平成20年4月分より諏訪公共職業安定所の公表数値は、諏訪公共職業安定所岡谷出張所（旧岡谷公共職業安定所）を含めた数値となっております。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	総体では幾分弱含みの状況であるが、在庫調整の一巡や付加価値の高い自動車関連向けなどで需要が出てきている。
コンデンサー	自動車向けは比較的堅調であり、今後インバーター関連向けの受注が増加の見通しである。
プリンター	大型プリンター、サーマルプリンターの受注は横這いの状況である。
コンダクター・リレー	受注状況は安定しており、売上は増加傾向である。

2. 輸送用機械

自動車	下請企業の受注状況は加工部品により区々であるが、総体では弱含みの状況が続いており、引き続きコストダウン要請がきかれる。また、今後の親会社の生産調整を危惧するものの、ハイブリット車やディーゼル関係・中小型車向けの需要に期待の声がある。
ピストンリング・シリンダーライナー	メーカーは順調な生産状況であるが、下請企業の受注は企業により区々である。
船外機	下請企業の受注状況は堅調に推移している。

3. 一般機械

工作機械・専用機	国内向けの弱含みや大型設備の受注減少から、生産状況に減速感がみられる。
搬送用機械	デジタル家電企業からの受注残高は増加傾向である。
金型	企業により区々であり総体では弱含みの状況であるが、医療機器や事務機器などで新規受注の動きもみられる。
アルミダイキャスト	受注状況は企業により区々となっており、自動車関連部品もメーカーにより増減区々である。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの5月の生産台数は1,044万台で、前月比△11.3%減、前年同月比21.3%増となっている。5月の出荷台数は国内出荷78万台、海外出荷969万台で、出荷台数全体では前月比△8.2%減、前年同月比26.6%増となっている。(カメラ映像機器工業会：2008年1月分から統計参加企業が増加したことにより、「対比」の定義が厳密ではないため、前月比、前年同月比の数値はあくまで「参考値」とする。)
---------	--

デジタルカメラ関連企業の生産状況は堅調であるものの、メーカーにより発注状況は区々となっている。

プロジェクター メーカーの販売状況は新興国を中心に好調であるが、海外生産が中心となっており地域企業の受注は横這いの状況となっている。

レンズ ガラスレンズは海外生産が主体となっていることから国内の加工業者数が減少しており、足元の受注や見積り依頼が増加している企業がみられる。

5. 織 維

ニット 初秋ニットの生産時期となっているが、消費マインドの低迷から今後の秋冬物の生産・販売への警戒感がきかれる。

6. 食 品

寒天 個人向けは地元での売上げが増加しており、国産品の見直しにより業務用の売上げも増加してきた。

味噌 大豆等の原材料価格の高騰により行った商品価格の値上げにより、売れ行きが幾分弱含みとなっている。

7. 製 材

諏訪地方の5月の木造住宅着工件数は54戸で前年同月比△43戸減少した。木材価格は需要の弱含みから値下がり傾向であるが、原材料価格の上昇から外材や断熱材などは値上がりしている。

8. 建 設

公共工事 6月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所2件、林道治山工事関係5件、その他1件の合計8件、契約金額289百万円となっている。平成20年4月～平成20年6月の累計契約は16件470百万円で平成18年7月豪雨災害の復旧工事のあった前年同期累計比では△11件、△1,186百万円と大きく減少している。市町村の6月の発注工事は、建築工事17件569百万円、土木工事・下水道工事57件275百万円、その他工事12件140百万円の合計86件984百万円で、前年同月比では△22件、△593百万円の減少となった。

民間工事 諏訪地方の5月の新設住宅着工件数は82戸で前年同月比では△92戸（△52.8%）の減少となった。利用関係別では、持家が59戸（前年同月比△41.6%）、貸家が22戸（前年同月比△68.6%）、給与が1戸（前年同月は0戸）となっている。

長野県全体の新設住宅着工戸数は1,112戸で、前年同月比△26.1%減と16ヶ月連続で減少している。

9. 商業

ガソリン価格が6月には170円台、7月に入ると1987年の統計開始以来の最高値である180円台となり、食料品価格の上昇とともに商業活動に大きな影響を与えている。

また、長野県内では6月1日より「たばこ」の自動販売機に成年識別ICカード「taspo（タスポ）」が導入されたが同カードの普及率は低く、たばこの購入をコンビニで行う喫煙者が増えたことから、諏訪地区内のコンビニの売上げは増加した。

衣料 気温の上がった中旬には夏物衣料が幾分動いたものの、ガソリン高や食料品価格の上昇の影響を受け月間を通しての動きは弱い。

食料品 商品価格の上昇から売上高は前年を上回っている店舗が多いものの、収益性は低下しているとの声が多い。大手スーパーではPB商品の構成比率を上げており、売れ行きは好調である。

家電製品 薄型TVや新世代DVDの売れ行きは堅調であり、エアコンの販売数も増加してきた。

自動車 諏訪・岡谷を合わせた6月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,034台で前年同月比△110台（△9.6%）の減少となった。また、諏訪地方の軽自動車の販売台数は393台で前年同月比18台（+4.8%）の増加となった。

ホームセンター 生活用品の売れ行きは堅調であるが、来店客の低価格志向がきかれる。

10. 観光

例年6月は、梅雨や5月の大型連休の反動から入り込み客は低調となっている。NHK大河ドラマ「風林火山」の効果があった昨年と比べ、宿泊客数は各観光地とも減少傾向となっており、上諏訪温泉では7月下旬より始まるサマーナイトファイヤーフェスティバル（連日の花火打ち上げ）までの対応が課題となっている。また、8月15日の花火大会の予約状況では法人需要が例年より幾分弱含んでいるとの声がかかるものの、夏の旅行者動向が燃油サーチャージ（付加運賃・料金）の加算により高値となる「海外旅行」から「国内旅行」にシフトする傾向にあることから、各施設とも夏休み向けの営業に注力している。

上諏訪温泉 個人客は比較的堅調であるものの、団体客や少人数のグループ客が減少しており、総体での宿泊客数は前年同月比では20%程度減少した模様である。旅行者の志向が「安・近・短」となっており、県内居住者など近距離からの宿泊者の増加が目立つようになった。

蓼科・白樺湖・車山 前年同月比の宿泊客数は、横這いから10%減少のところが多い。

下諏訪温泉 宿泊客数はホテル旅館により区々であるが、総体での前年同月比は幾分減少している。宴会時の客単価の低下がかかる。

諏訪大社 上社・下社合わせた参拝客数は53千人で、前年同月比△4千人の減少となり、「風林火山」放映前の例年の水準に戻っている。